

野生イノシシ生息状況調査（速報）について

1 概要

愛知県では、田原市全域及び豊橋市南部において、2020年度から野生イノシシの生息状況調査を実施している。域内の一部地域ではRESTモデルを取り入れ、これにより得られた平均生息密度を用いる事で、田原市全域及び豊橋市南部における野生イノシシ生息頭数の推定を実施している。

2 調査方法

(1) 自動撮影カメラ調査（静止画）

- ・大山山塊及び宇津江山塊において、生息状況の指標である撮影頻度(100TN^{※1})算出等のために実施。
- ・2ヶ月に1回以上の頻度で撮影データを回収し、月ごとの撮影頻度を算出。

(2) 自動撮影カメラ調査（動画）

- ・大山山塊、宇津江山塊及び表浜海岸において、RESTモデル^{※2}による生息密度推定のために実施。
- ・2ヶ月に1回以上の頻度で撮影データを回収し、生息密度を推定。

(3) フィールドサイン（痕跡）調査

- ・広域スケールでの相対的な生息密度の違いを評価するために実施。設定したルートの両側1mの範囲を観察対象とし、掘り返し跡の数を記録する。
- ・9月、11月、1月に実施。11月及び1月は、9月に確認した痕跡と重複しないよう新しい痕跡のみ記録する。

※1 撮影頻度(100TN)：撮影頭数(頭) /カメラ稼働日数(日) ×100(日)

ただし、カメラの撮影後のセンサー休止時間を5分間とする。

※2 RESTモデル：動画撮影により一定エリア内の対象獣種滞在時間を計測し、生息密度を推定する方法。個体識別ができない動物の生息密度を推定するためのモデル。



図1 自動撮影カメラの設置イメージ

3 調査結果（速報）

（1）自動撮影カメラ調査（静止画）結果（表1、図2～6）

自動撮影カメラ（静止画）により得られた撮影頻度(100TN)について、例年と同様、大山山塊の中心部（E-10、E-11、F-10、F-11）は他地点と比べて特に撮影頻度が高い傾向にある。また、南西部のD-9地点、南東部のE-12地点は昨年度と比べ撮影頻度が高くなっている。なお、G-10地点については、10～12月にかけ同一個体と思われるイノシシが頻繁に行き来していたことから、撮影頻度が高くなっている（表1、図2～3）。

過去3年間の月別の撮影頻度に比較してみると、7～11月は田原市内の捕獲頭数が昨年度より増加しているものの、大山山塊の撮影頻度の低下は見られず、むしろ大山山塊の南側に広がってきている。宇津江山塊については撮影頻度に大きな変化は見られなかった（図4～6）。

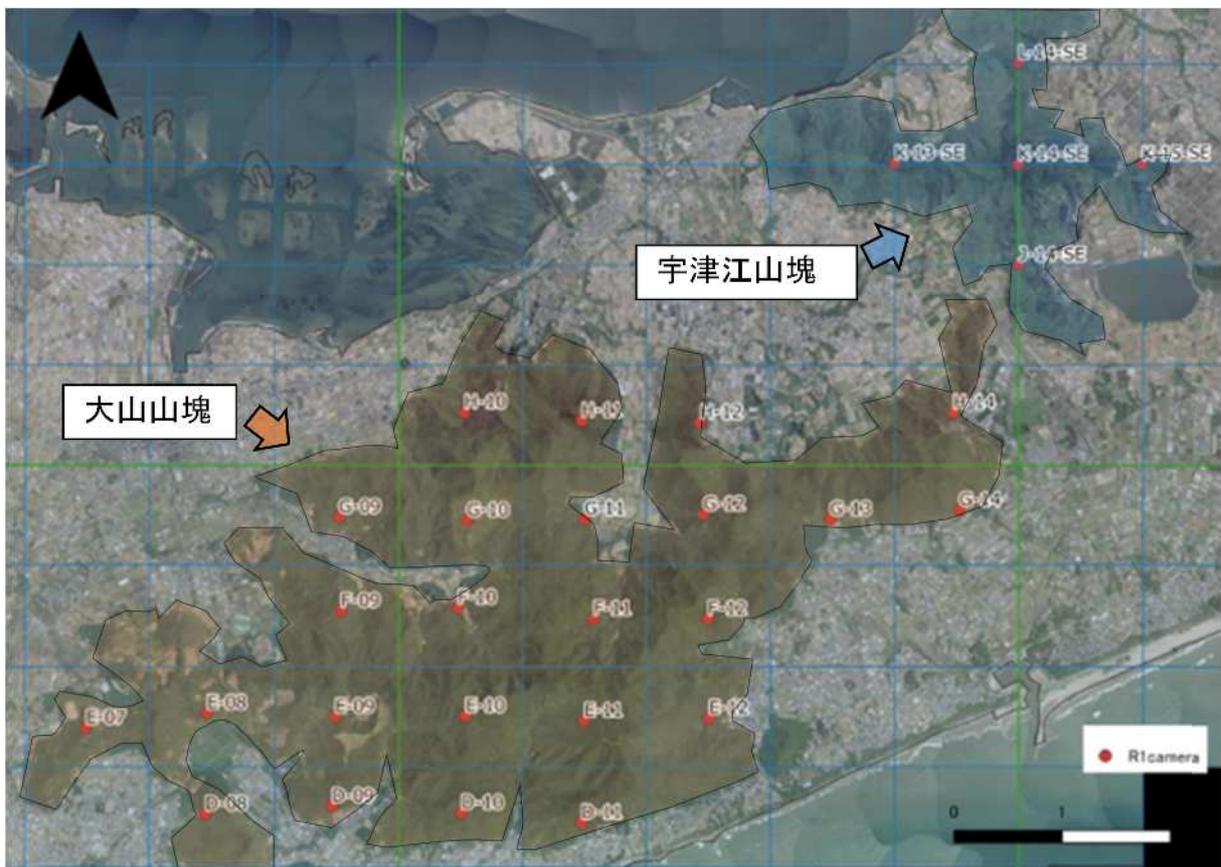


図2 自動撮影カメラ（静止画）の設置位置※3

※3 図中の赤丸がカメラ設置位置

表1 2025年度の撮影頻度（100TN）【7月～12月】

		2025年度								2024年度	
地点No.		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	年間	全期間
大山山塊	D-08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00	0.00
	D-09	95.24	100.00	100.00	103.23	16.67	22.22			78.95	24.49
	D-10	4.35	12.90	36.67	6.45	13.33	0.00			14.29	8.13
	D-11	9.09	6.45	13.33	9.68	26.67	22.22			13.73	11.73
	E-07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00	0.00
	E-08	0.00	0.00	0.00	6.45	0.00	0.00			1.32	0.00
	E-09	4.76	0.00	0.00	0.00	13.33	0.00			3.29	2.33
	E-10	0.00	0.00	3.33	9.68	86.67	11.11			20.13	23.50
	E-11	52.17	16.13	0.00	41.94	60.00	88.89			36.36	13.01
	E-12	8.70	35.48	110.00	206.45	60.00	66.67			87.01	28.04
	F-09	0.00	6.45	20.00	9.68	46.67	22.22			17.76	11.38
	F-10	66.67	151.61	63.33	61.29	80.00	290.00			99.35	101.63
	F-11	22.73	3.23	13.33	19.35	20.00	60.00			18.18	10.57
	F-12	8.70	0.00	0.00	3.23	3.33	0.00			2.60	7.69
	G-09	9.52	16.13	36.67	6.45	6.67	10.00			15.03	9.76
	G-10	23.81	35.48	73.33	200.00	680.00	180.00			210.46	343.90
	G-11	0.00	6.45	3.33	0.00	3.33	0.00			2.60	3.66
	G-12	0.00	0.00	0.00	6.45	6.67	0.00			2.60	12.55
	G-13	21.74	12.90	46.67	0.00	3.33	100.00			21.43	5.69
	G-14	4.35	16.13	6.67	9.68	13.33	0.00			9.80	2.43
H-10	13.64	25.81	16.67	45.16	33.33	44.44			28.76	13.36	
H-11	0.00	3.23	10.00	19.35	3.33	10.00			7.79	10.12	
H-12	13.64	19.35	70.00	51.61	10.00	0.00			31.82	12.60	
H-14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00	0.00	
宇津江山塊	J-14-SE	21.74	6.45	26.67	48.39	3.33	0.00			20.26	21.14
	K-13-SE	4.55	6.45	13.33	0.00	0.00	0.00			4.61	3.66
	K-14-SE	0.00	0.00	3.33	12.90	3.33	0.00			3.95	4.08
	K-15-SE	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00	0.00
	L-14-SE	9.09	3.23	3.33	22.58	36.67	0.00			14.47	13.56

- 特に撮影頻度が低い地点（大山山塊の西端及び東端、宇津江山塊の一部縁辺部）
- 特に撮影頻度が高い地点（大山山塊の中心部付近）

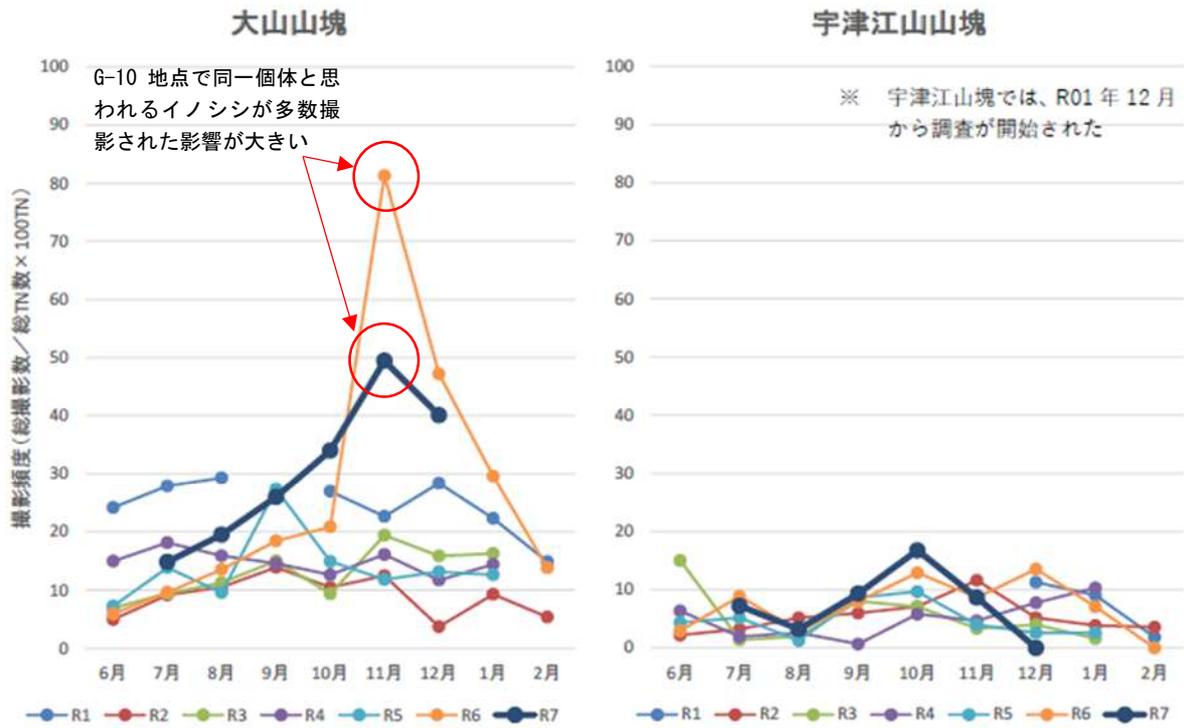


図3 山塊ごとの撮影頻度の月別推移(2019~2025年度) ※4, 5

※4 山塊ごとの撮影頻度は、各山塊の全カメラ撮影結果を平均したものを月別に示している。

※5 2025年度12月途中の解析結果のため今後変動する可能性がある。

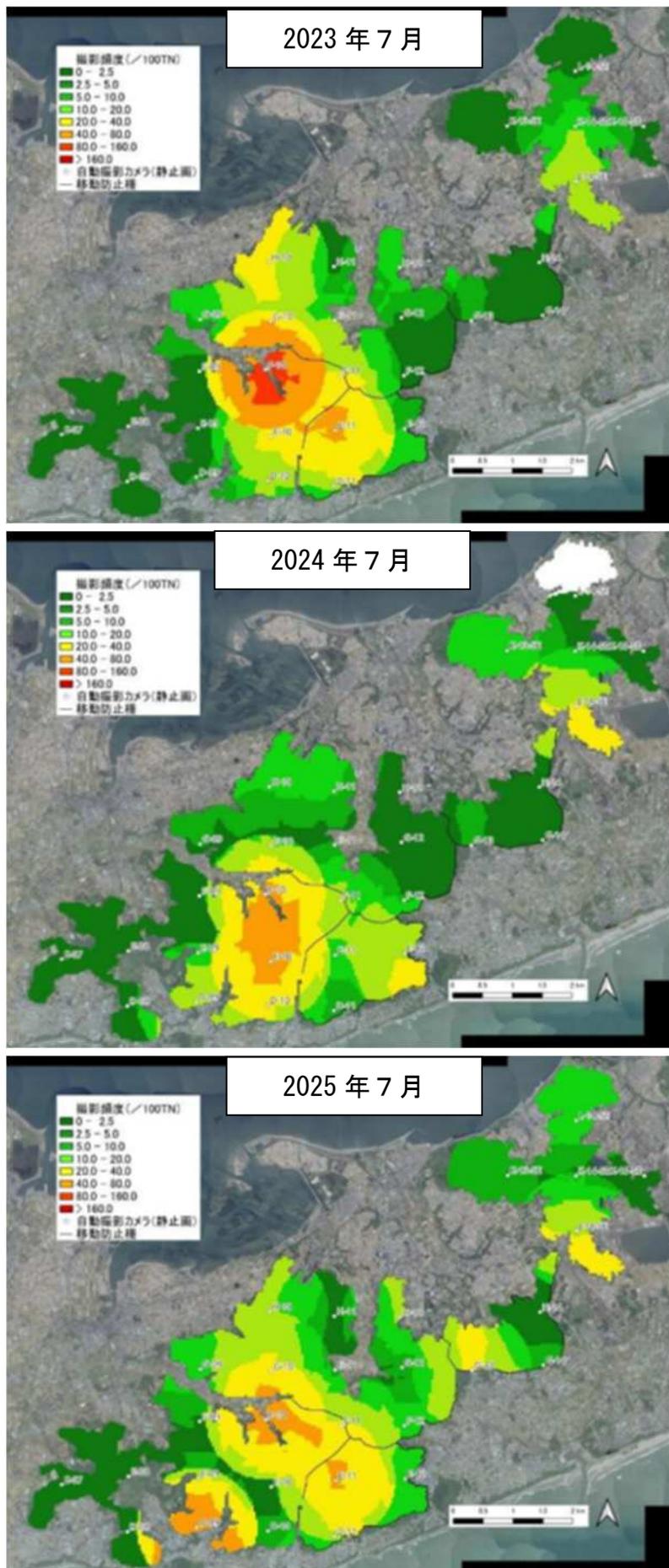


図4 7月の撮影頻度の空間分布(上:2023年度、中:2024年度、下:2025年度)

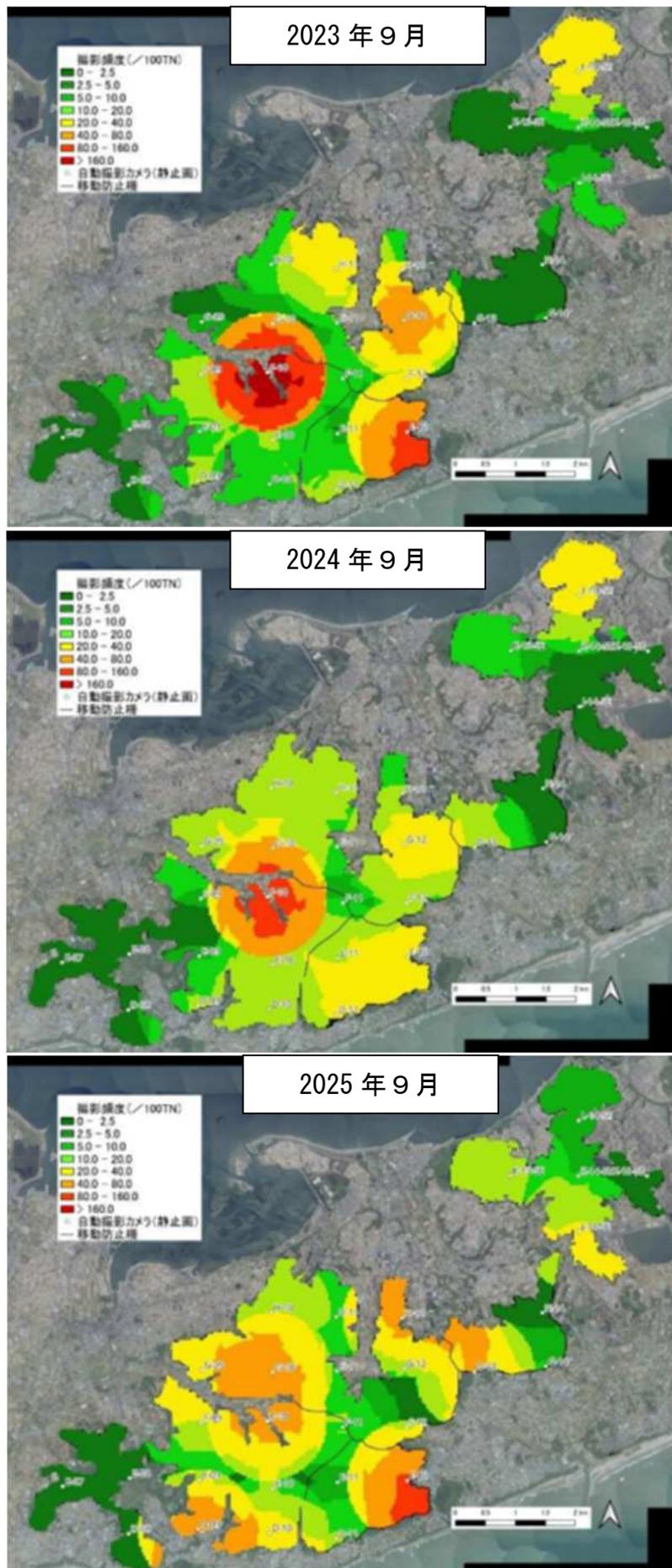


図5 9月の撮影頻度の空間分布（上：2023年度、中：2024年度、下：2025年度）

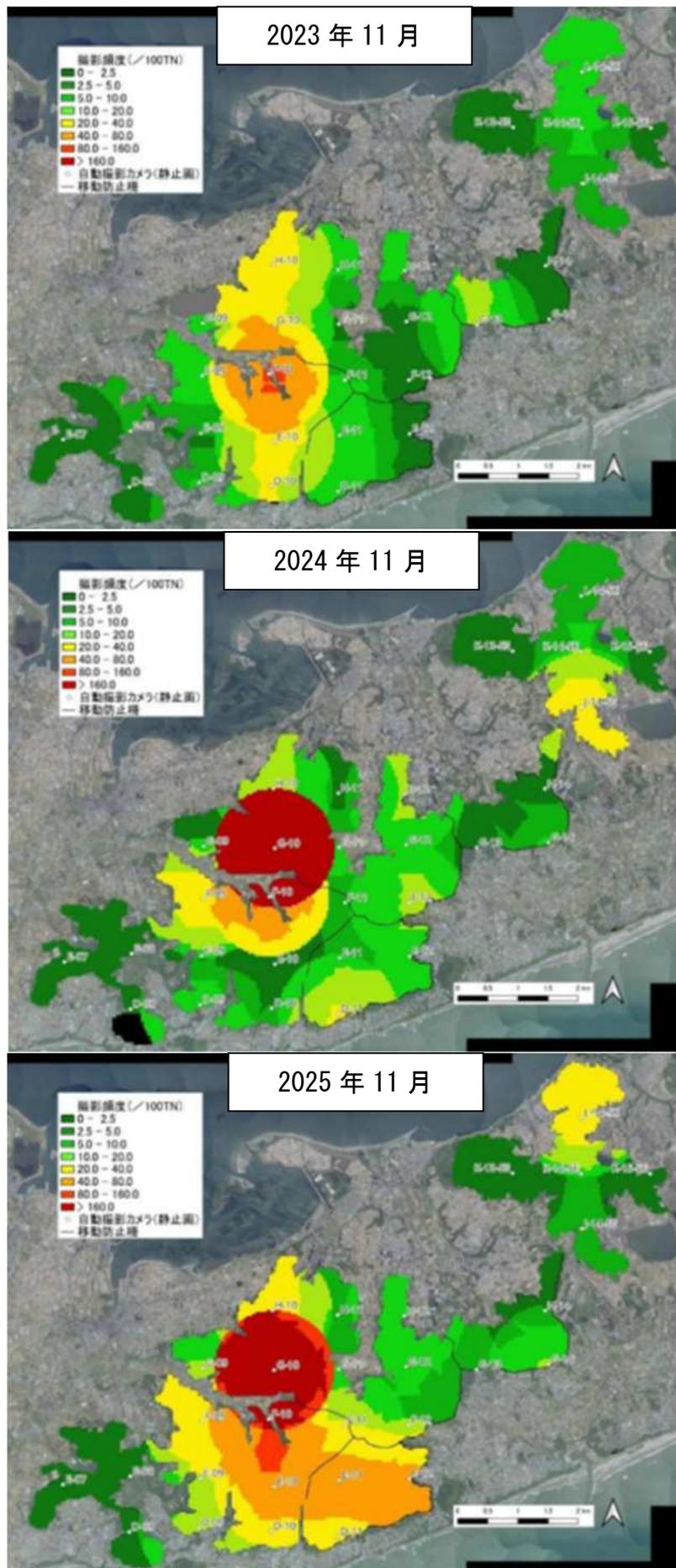


図6 11月の撮影頻度の空間分布（上：2023年度、中：2024年度、下：2025年度）

(2) 自動撮影カメラ調査（動画）結果（表2～3、図7～8）

自動撮影カメラ調査（動画）については、昨年度と同様に大山山塊、宇津江山塊、表浜海岸を調査地点として、計7ユニット調査を実施している。（図7～8）

調査結果として、2025年9～11月に、全7ユニットで昨年度同時期よりも生息密度が減少していた。これは、前述の自動撮影カメラ調査（静止画）の結果で大山山塊の撮影頻度が増えていたことと相反する結果となっており、その要因としてカメラ前でのイノシシの滞在時間が短く、生息密度の推定結果が過小評価されていることが考えられる。

昨年度同時期よりも生息密度が減少しているものの、ユニット12においてはターム1、2ともに高い水準にあることがわかった。また、ユニット12以外はターム1よりターム2で生息密度が高くなっているため、今後の調査結果を注視するとともに、生息密度が高いと推定される地点で積極的に捕獲圧をかけていく必要がある（表3）。

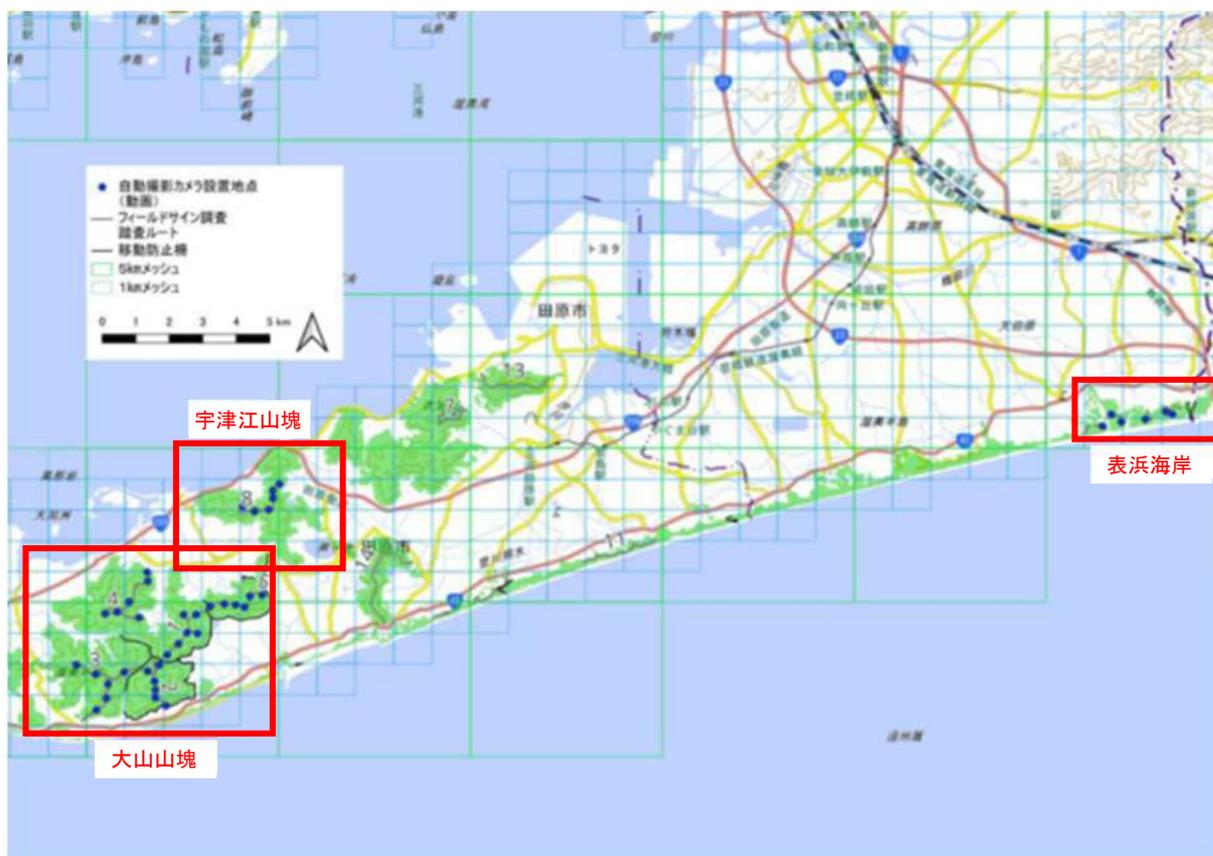


図7 自動撮影カメラ調査（動画）の調査範囲（全域）※6

※6 図中の青丸がカメラ設置位置

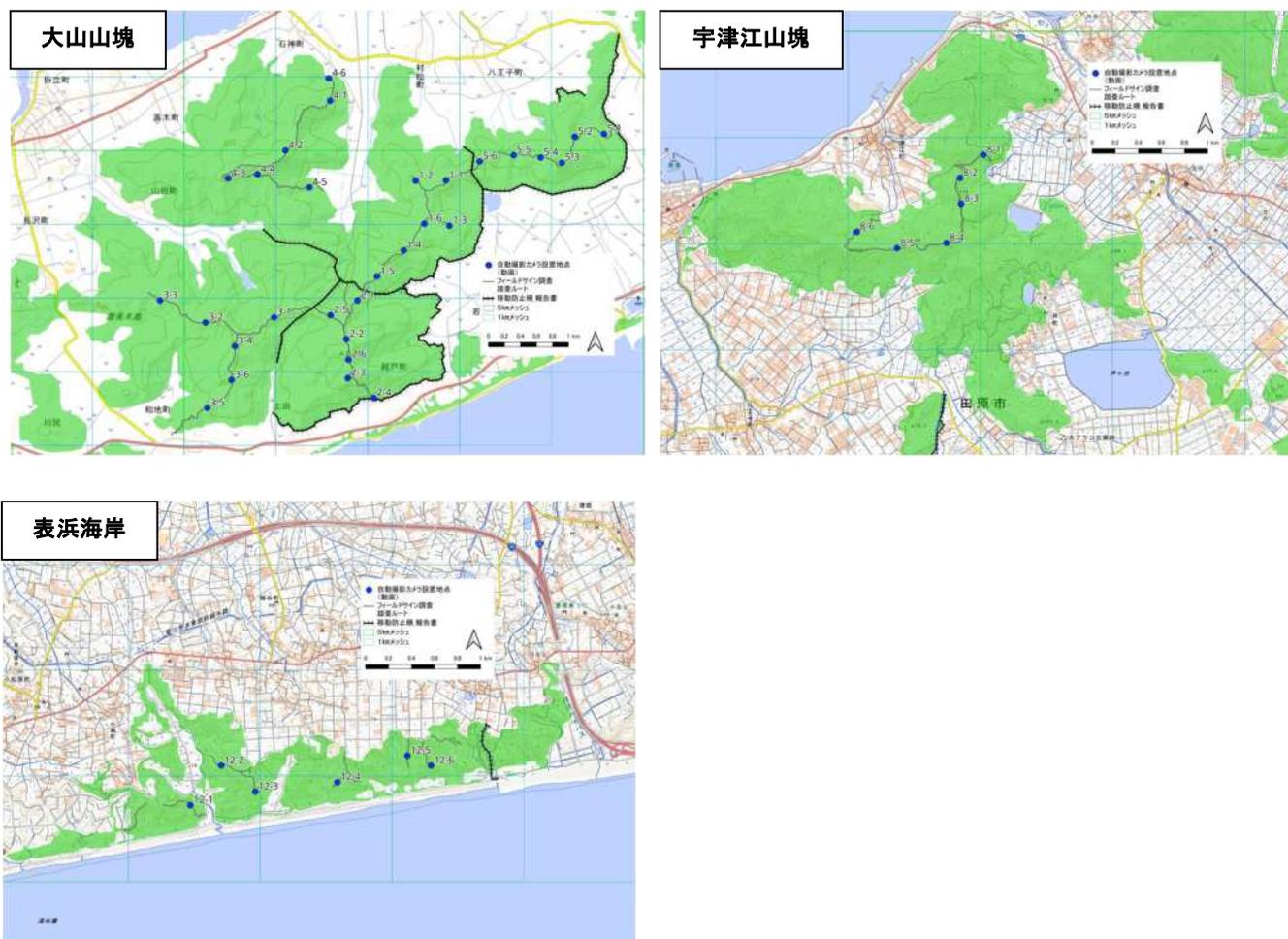


図8 自動撮影カメラ調査（動画）の調査範囲（拡大）

表2 自動撮影カメラ調査（動画）の解析対象期間

ターム	カメラ設置期間	日数 [※]
1	令和7年9月1日～11月12日	70～71日
2	令和7年11月10日～12月11日	27～29日

カメラ毎に設置、データ回収日が異なるため幅のある日数となっている。

表3 RESTモデルによる生息密度推定（全域）

変数	ターム	ユニット	平均	標準偏差	2.50%	25%	50%	75%	97.50%	Rhat	n.eff [※]
生息密度 (頭/km ²)	1	1	2.26	1.06	0.65	1.24	2.04	2.31	4.29	1.00	12263
		2	7.01	2.55	2.93	4.66	6.56	7.48	12.04	1.00	7603
		3	2.43	1.05	0.88	1.41	2.22	2.48	4.56	1.00	10678
		4	4.83	1.98	1.67	2.88	4.46	4.99	8.62	1.00	8905
		5	6.33	2.81	2.07	3.61	5.79	6.61	11.91	1.00	13534
		8	6.45	2.42	2.59	3.98	5.99	6.61	11.26	1.00	9081
		12	25.23	7.19	13.36	18.90	24.22	27.54	39.86	1.00	4960

生息密度 (頭/km ²)	2	1	8.59	4.47	2.11	4.26	7.60	8.71	17.16	1.00	11442
		2	15.87	6.71	5.36	9.14	14.64	16.61	29.50	1.00	10446
		3	9.38	4.60	2.48	4.83	8.37	9.54	18.38	1.00	6789
		4	19.62	7.79	6.86	12.05	18.17	20.84	34.93	1.00	5977
		5	7.40	5.28	0.75	2.46	6.02	6.88	17.39	1.00	6351
		8	9.64	4.63	2.81	5.22	8.66	9.93	18.88	1.00	8180
		12	23.06	8.59	9.22	14.90	21.48	24.67	40.46	1.00	4738

【2024年度調査推定結果】^{※7}

変数	ターム	ユニット	平均	標準偏差	2.5%	25%	50%	75%	97.5%	Rhat	n.eff [※]
生息密度 (頭/km ²)	1	1	27.64	9.96	11.56	20.58	26.43	33.44	50.53	1.00	16000
		2	25.37	8.50	11.99	19.37	24.26	30.13	45.20	1.00	6700
		3	41.10	8.52	25.64	35.30	40.70	46.30	59.37	1.00	20000
		4	47.49	14.96	22.46	36.81	46.10	56.49	80.89	1.00	1900
		5	13.21	7.60	3.36	7.86	11.59	16.73	32.47	1.00	30000
		8	50.90	17.04	22.65	38.62	49.22	61.38	88.89	1.00	13000
		12	48.69	19.95	17.27	34.14	46.22	60.65	94.20	1.00	2300
	2	1	16.55	5.35	8.33	12.77	15.76	19.48	29.13	1.00	17000
		2	27.40	7.31	14.83	22.39	26.79	31.77	43.41	1.00	30000
		3	38.61	15.92	13.55	26.99	36.75	48.06	75.32	1.00	30000
		4	63.28	22.99	26.17	46.59	60.64	76.84	115.83	1.00	4800
		5	0.12	0.21	0.00	0.02	0.05	0.12	0.68	1.00	17000
		8	7.54	3.10	3.19	5.39	7.01	9.06	15.01	1.00	30000
		12	82.80	32.24	33.39	59.68	78.54	100.78	157.13	1.00	2300

※7 ターム1 R6.9.3~R6.11.29、ターム2 R6.11.25~R7.1.9

(3) フィールドサイン（痕跡）調査結果（表4～5、図9～10）

フィールドサイン（痕跡）調査については、計15ルートで調査を実施している（図9）。一部区間で若干のルート変更をしているものの昨年度調査と同様のルートで実施している。

調査結果として、自動撮影カメラ調査（静止画）と同様、大山山塊（ルート2～4）で痕跡が多く確認されている。また、表浜樹林帯（ルート11～12）、尾村山（ルート14）でも比較的痕跡が多く確認されている。一方、初立池周辺（ルート6，9）では11月調査で掘り返し跡は確認されなかった（表5）。

今後、1月の結果を整理し、自動撮影カメラ調査（静止画及び動画）の結果と合わせて各ルートの生息密度推定を行う。



図9 フィールドサイン（痕跡）調査の調査範囲^{※8}

※8 図中の数字はルート番号

表4 フィールドサイン（痕跡）調査日

調査回	調査日
1	令和7年9月1日 ~ 令和7年9月5日
2	令和7年11月10日 ~ 令和7年11月13日

表5 フィールドサイン（痕跡）調査結果（掘り返し跡数及び密度）

ルート	踏査距離 (km)	掘り返し跡数 ^{※9}		掘り返し密度		
		9月	11月	9月	11月	
大山山塊	1	3.04	33	6	10.85	1.97
	2	3.13	66	7	21.08	2.24
	3	4.95	119	34	24.02	6.86
	4	4.18	42	16	10.05	3.83
	5	2.49	24	1	9.65	0.40
初立池周辺	6	1.96	0	0	0.00	0.00
蔵王山北部	7	2.80	34	1	12.12	0.36
宇津江山塊	8	3.27	64	4	19.60	1.23
初立池周辺	9	2.40	9	0	3.75	0.00
蔵王山東部	10	2.98	24	15	8.04	5.03
表浜樹林帯	11	2.99	70	11	23.41	3.68
	12	2.99	58	10	19.40	3.34
蔵王山東部	13	2.44	9	5	3.69	2.05
大山東部	14	3.55	139	30	39.15	8.45
西ノ浜	15	4.04	8	1	1.98	0.25
合計	47.22	699	141	14.80	2.99	

※9 11月は9月に確認した掘り返し跡と重複しないよう新しい掘り返し跡のみ計上

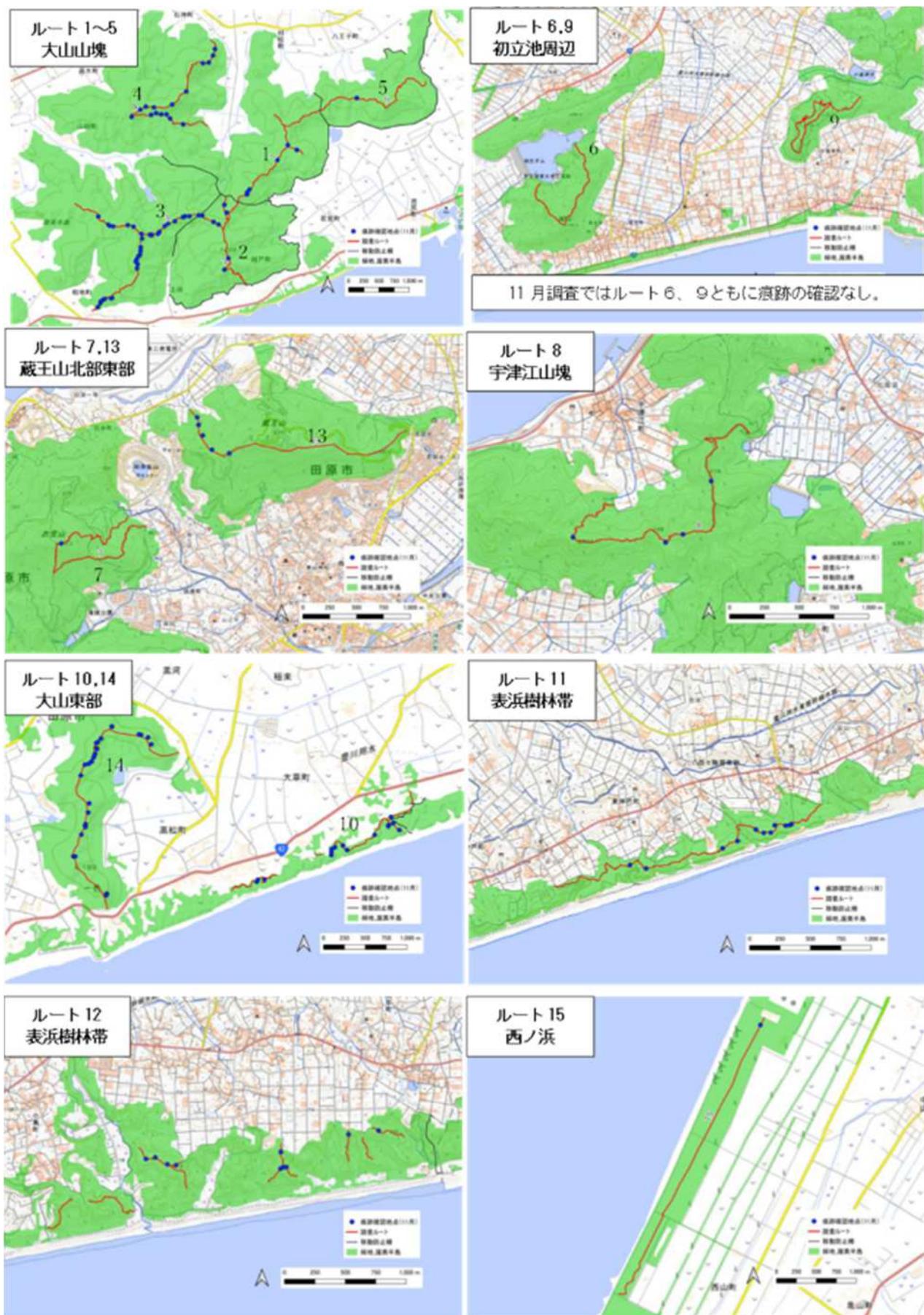


図10 ルート1～5 フィールドサイン（痕跡）調査結果（11月）※10

※10 図中の青丸が痕跡の確認された地点